

令和6年度国立大学図書館協会
東京地区協会・関東甲信越地区協会合同
フレッシュパーソンセミナー

図書館の選書・受入・目録

2024年11月1日（金）
東京大学総合図書館3階大会議室



東京外国語大学総務企画部
学術情報課専門職員
布野 真秀

目次

- 1 自己紹介
- 2 講義概要
- 3 選書
- 4 受入
- 5 目録

自己紹介



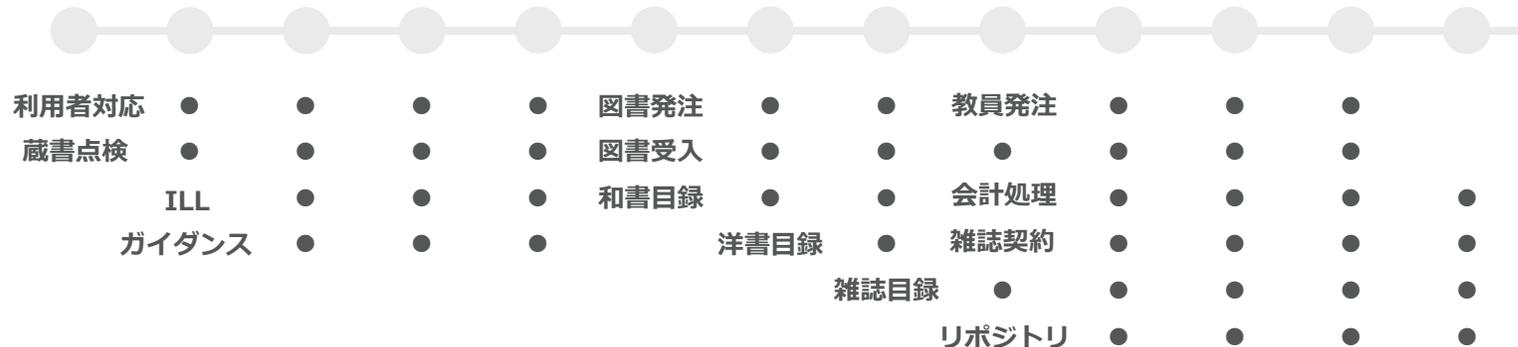
布野 真秀
NUNO Masahide



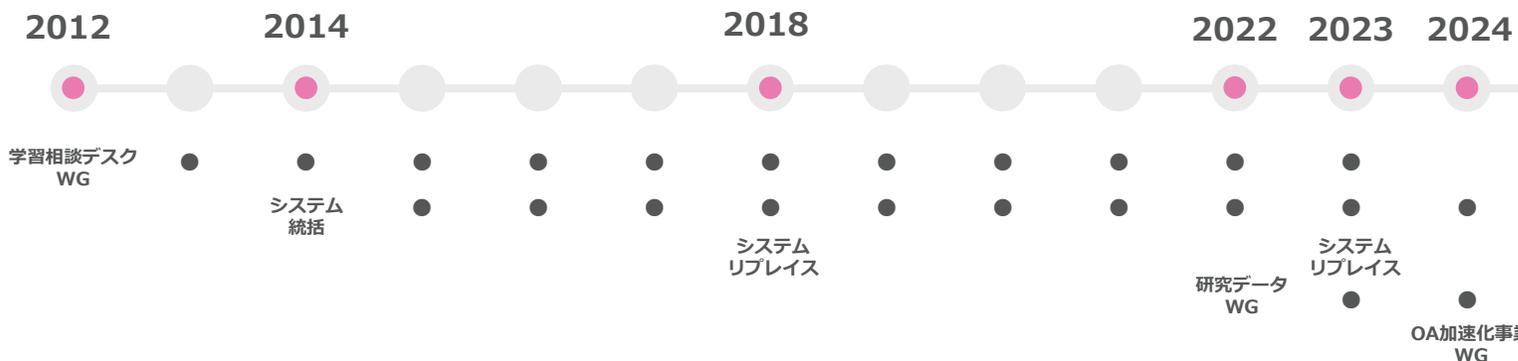
異動



係業務



横断的業務



外部の仕事

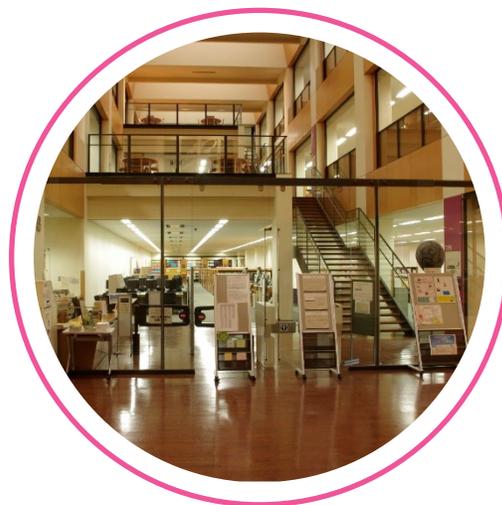


自己紹介



東京外国語大学

Tokyo University of Foreign Studies



附属図書館

TUFS Library



所在

東京都府中市朝日町3-11-1

学部等

3学部 / 1大学院

学生数

学部3,786名 / 大学院499名

教職員数

教員250名 / 職員143名

専攻

15地域28言語

構造

4階建・全面開架

蔵書数

図書 745,757冊

雑誌 9,223タイトル

電子ブック 2,830冊

特色

295言語の図書を所蔵

目次

- 1 自己紹介
- 2 講義概要
- 3 選書
- 4 受入
- 5 目録

講義の概要

そもそも大学「図書」館の「図書」とは？

書籍。書物。本。ずしよ。

—— "と-しよ【図書】", デジタル大辞泉, JapanKnowledge, <https://japanknowledge.com>,
(参照 2024-10-16)

文字や図表などが記載された紙葉を冊子体に製本した資料。本, 書物, 書籍, 書などともいうが, 図書館用語としては, 通常, 図書が用いられる。現代では, 手書きではなく印刷され, 装丁され, 出版され, さらに相当量のページ数(ユネスコの定義では49ページ以上)を有するものとして捉えられることが多い。

—— "図書", 図書館情報学用語辞典 第5版, JapanKnowledge, <https://japanknowledge.com>,
(参照 2024-10-16)

講義の概要

続・そもそも大学「図書」館の「図書」とは？

第10 有形固定資産

次に掲げる資産(ただし、(1)から(7)までに掲げる資産については、国立大学法人等の通常の業務活動の用に供するものに限る。)は、有形固定資産に属するものとする。[...]

(6) 図書

<注32> 図書の評価方法について

図書(印刷その他の方法により複製した文書若しくは図画、又は電子的方法、磁気的方法その他の人の知覚によっては認識できない方法により文字、映像、音を記録した物品としての管理が可能な物。以下同じ。)は国立大学法人等にとって、教育研究の基礎となるものであることから、雑誌やパンフレット等教育研究上一時的な意義しか有さないものを除き、有形固定資産として取得原価をもって貸借対照表価額とする。

なお、図書は個々により使用の実態が大きく異なること及び比較的少額かつ大量にあることから、図書を除却する際に費用として認識することとし、使用期間中における減価償却は行わないこととする。

—— 「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」報告書（令和6年2月21日改訂）本文，
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/houjin/houjin.htm，（参照 2024-10-16）

講義の概要

続々・そもそも大学「図書」館の「図書」とは？

Q10-1 次の表示科目は、具体的にはどのようなものか。

(5) 図書

図書とは[...] (注解32参照)。したがって、**CD-ROM、マイクロフィルム、ビデオテープ等も含まれる。**

Q25-2 基準第25では、 [...]

3 [...]ただし、**図書のうち重要文化財又は国宝の指定を受けているものは、美術品として取扱うこととする。**なお、**教育・研究の用に直接供されないもの(例えば事務用図書)**については、本件でいう図書としては取り扱わない。

Q36-6 図書の承継時における取扱いはどうするのか。

2 **国立大学法人等における図書とは、附属図書館が組織として管理する教育・研究の用に供される図書とする。 [...]**

—— 「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」に関する実務指針本文（令和6年6月13日最終改訂），
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/houjin/houjin.htm，（参照 2024-10-16）

講義の概要

まとめると...

- 附属図書館が組織として管理する教育・研究の用に供される有形固定資産
- デジタルな媒体でも、物品として管理が可能なものは含まれる
- 幾つかの例外規定あり（教育研究上一時的な意義しか有さないもの、美術品など）



- 各大学の規定類
 - ex) ●●大学会計規程
 - 大学固定資産管理細則

講義の概要

「大学図書館で本を買う」



GOAL

- ☑ 図書が書架に並ぶまでにどんな業務が生じているか説明できる
- ☑ 何のための業務なのかを理解する

目次

- 1 自己紹介
- 2 講義概要
- 3 選書
- 4 受入
- 5 目録

選書とは？

不特定多数の利用者を想定し、一定の蔵書構成を実現するために収集すべき個別の資料を選択すること。選書ともいう。[...] すなわち、現存蔵書の充実度、利用頻度、利用者のニーズを考慮して、個々の資料を図書館に受け入れるかどうかを決定する作業やその過程を指す。資料選択は、収集方針や年度ごとの重点計画に基づいて行われ、選択基準に従って、個々の資料タイプが図書館の目的に適合するか、資料の有用性と費用対効果はどうか、利用者要求やニーズを充足させるか、資料収集の緊急性と優先順位は適正であるかどうかなどを判断して行われる。

—— "資料選択", 図書館情報学用語辞典 第5版, JapanKnowledge, <https://japanknowledge.com>,
(参照 2024-10-16)

選書とは？

Point

不特定多数の利用者を想定し、**一定の蔵書構成を実現**するために収集すべき個別の資料を選択すること。選書ともいう。[...] すなわち、現存蔵書の充実度、利用頻度、利用者のニーズを考慮して、個々の資料を図書館に受け入れるかどうかを決定する作業やその過程を指す。資料選択は、**収集方針**や年度ごとの重点計画に基づいて行われ、**選択基準**に従って、個々の資料タイプが図書館の目的に適合するか、資料の有用性と費用対効果はどうか、利用者要求やニーズを充足させるか、資料収集の緊急性と優先順位は適正であるかどうかなどを判断して行われる。

Point

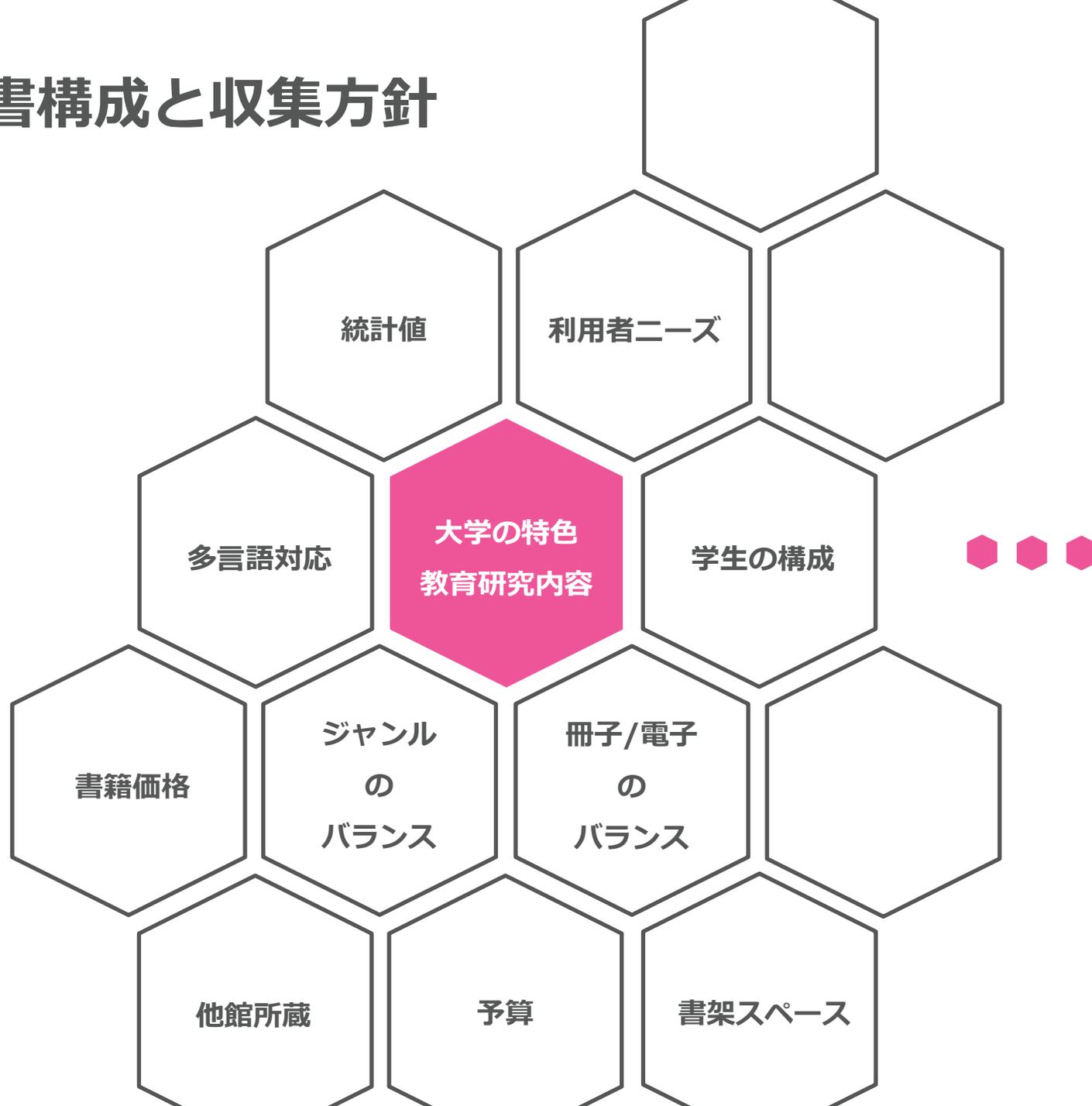
—— "資料選択", 図書館情報学用語辞典 第5版, JapanKnowledge, <https://japanknowledge.com>,
(参照 2024-10-16)

蔵書構成と収集方針

拡散的



収束的



収集方針

ex. (東外大)選書委員会選書方針大綱

○対象・範囲

本学の研究・教育に関連した図書、大学図書館にふさわしい内容の図書を選定する。

本学の性格上、収集図書の主題範囲は人文・社会科学のほぼすべての領域にわたるが、下記の3点を選定の原則としている。[...]

○主題別選定方針

以下、日本十進分類法の第1次区分に従って、主題別の選定方針を述べる。[...]

cf. 除籍方針

ex. 国立大学法人東京外国語大学図書除籍細則

選書とは？

不特定多数の利用者を想定し、一定の蔵書構成を実現するために収集すべき個別の資料の選取すること。選書ともいう。[...] すなわち、現存蔵書の充実度、利用頻度、利用者のニーズを考慮して、個々の資料を図書館に受け入れるかどうかを決定する作業やその過程を指す。資料選択は、収集方針や年度ごとの重点計画に基づいて行われ、選択基準に従って、個々の資料タイプが図書館の目的に適合するか、資料の有用性と費用対効果はどうか、利用者要求やニーズを充足させるか、資料収集の緊急性と優先順位は適正であるかどうかなどを判断して行われる。

—— "資料選択", 図書館情報学用語辞典 第5版, JapanKnowledge, <https://japanknowledge.com>,
(参照 2024-10-16)

どうやって決める？

WHO

図書館職員 + 選書担当教員

が

WHEN

年に数回

WHAT

学部学生用図書

を

WHERE

学生用図書選定会

で

HOW

週刊新刊全点案内を使って

決める...?

- 週刊新刊全点案内
- シラバス
- 書店からのリスト
- 新刊フライヤー
- 書評誌
- 学会誌などの書評
- 大型書店の棚見
- Amazonレビュー
- ブクログ

などなど

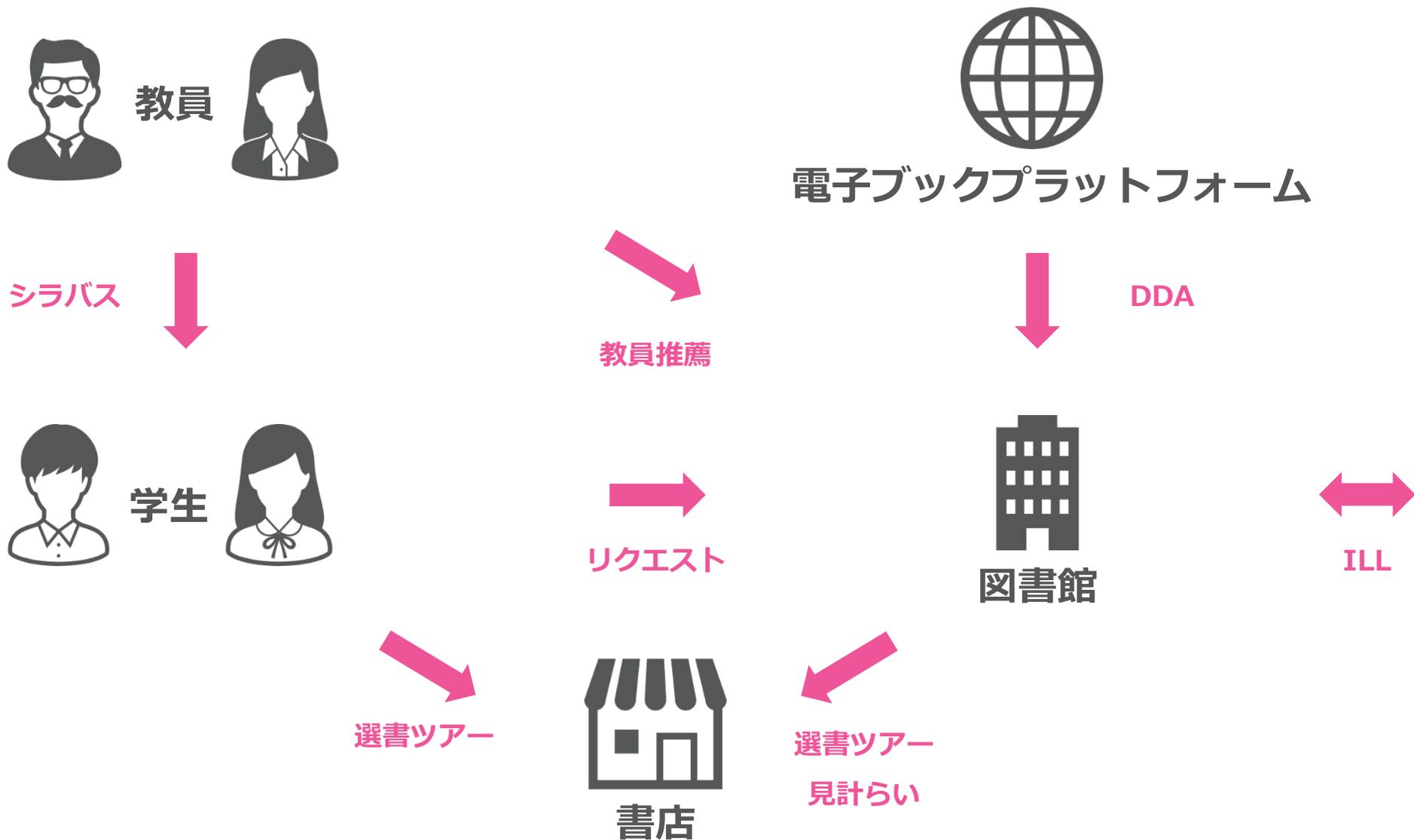
所属大学ではどのように決めていますか？

選書とは？

不特定多数の利用者を想定し、一定の蔵書構成を實現するために収集すべき個別の資料を選択すること。選書ともいう。[...] すなわち、現存蔵書の充実度、**Point** **利用頻度**、**利用者のニーズ**を考慮して、個々の資料を図書館に受け入れるかどうかを決定する作業やその過程を指す。資料選択は、収集方針や年度ごとの重点計画に基づいて行われ、**Point** 選択基準に従って、個々の資料タイプが図書館の目的に適合するか、資料の有用性と費用対効果はどうか、**利用者要求やニーズを充足させるか**、資料収集の緊急性と優先順位は適正であるかどうかなどを判断して行われる。

—— "資料選択", 図書館情報学用語辞典 第5版, JapanKnowledge, <https://japanknowledge.com>,
(参照 2024-10-16)

ニーズを満たす



選書とは？

不特定多数の利用者を想定し、一定の蔵書構成を実現するために収集すべき個別の資料を選択すること。選書ともいう。[...] すなわち、現存蔵書の充実度、利用頻度、利用者のニーズを考慮して、個々の資料を図書館に受け入れるかどうかを決定する作業やその過程を指す。資料選択は、収集方針や年度ごとの重点計画に基づいて行われ、選択基準に従って、個々の資料タイプが図書館の目的に適合するか、資料の有用性と費用対効果はどうか、利用者要求やニーズを充足させるか、資料収集の緊急性と優先順位は適正であるかどうかなどを判断して行われる。

—— "資料選択", 図書館情報学用語辞典 第5版, JapanKnowledge, <https://japanknowledge.com>,
(参照 2024-10-16)

目次

- 1 自己紹介
- 2 講義概要
- 3 選書
- 4 受入
- 5 目録

受入とは？

図書館が資料を蔵書として受け入れる際の最初の作業で、重複調査、発注、支払、受入登録などに分かれる。有償(購入)、無償(寄贈、資料交換、編入受入など)、寄託などを通じて取得した資料を、購入金額、形態、利用頻度、更新期間などを基準に、固定資産(備品)と非資産(消耗品)備品の2種に区分し、備品扱いの資料は図書原簿に記載する。これは物品管理法や会計法規上必要となる。

—— "受入業務", 図書館情報学用語辞典 第5版, JapanKnowledge, <https://japanknowledge.com>,
(参照 2024-10-18)

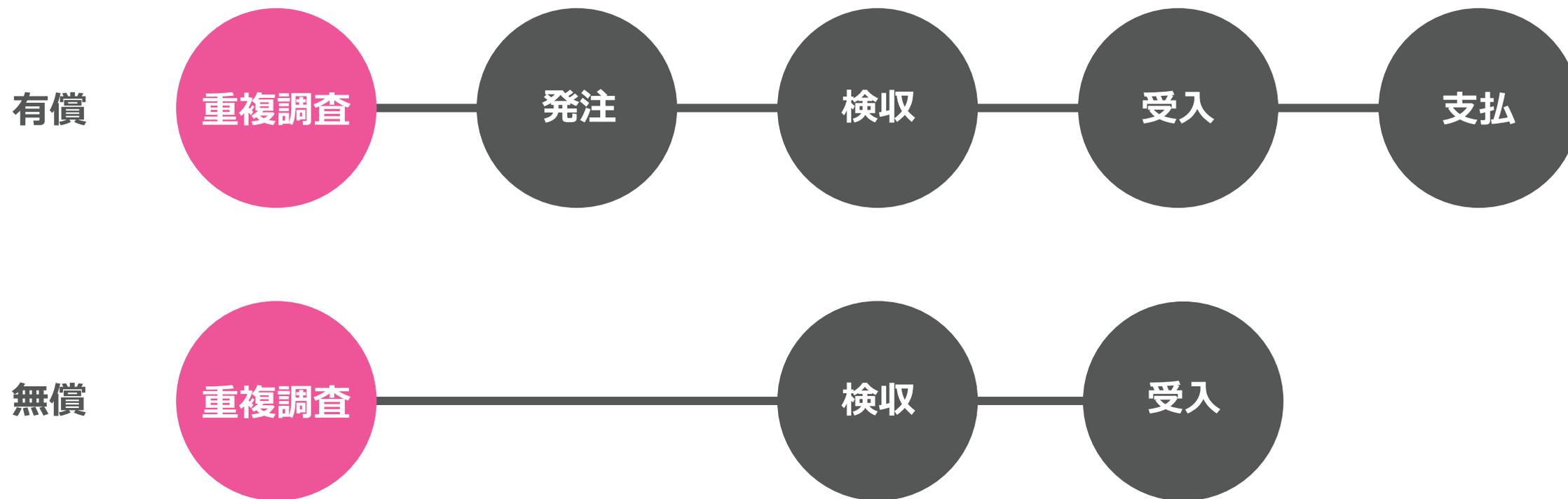
受入とは？

Point

Point 図書館が資料を蔵書として受け入れる際の最初の作業で、重複調査、発注、支払、受入登録などに分かれる。有償(購入)、無償(寄贈、資料交換、編入受入など)、寄託などを通じて取得した資料を、購入金額、形態、利用頻度、更新期間などを基準に、固定資産(備品)と非資産(消耗品)備品の2種に区分し、備品扱いの資料は図書原簿に記載する。これは物品管理法や会計法規上必要となる。

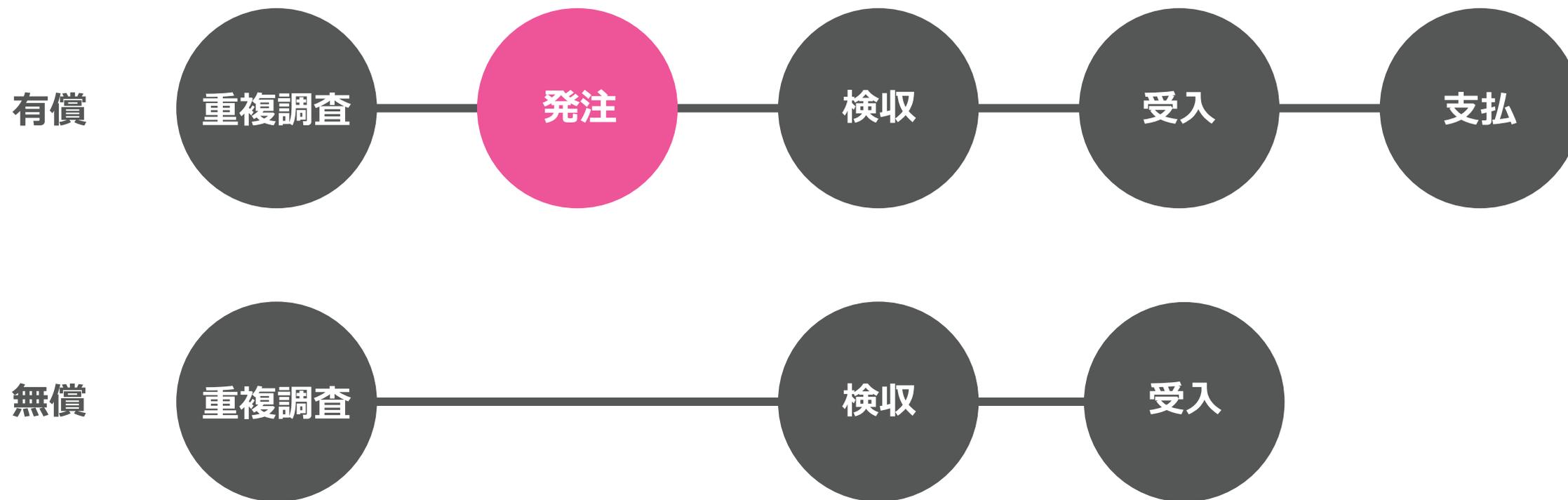
—— "受入業務", 図書館情報学用語辞典 第5版, JapanKnowledge, <https://japanknowledge.com>, (参照 2024-10-18)

一連の流れ — 重複調査 —



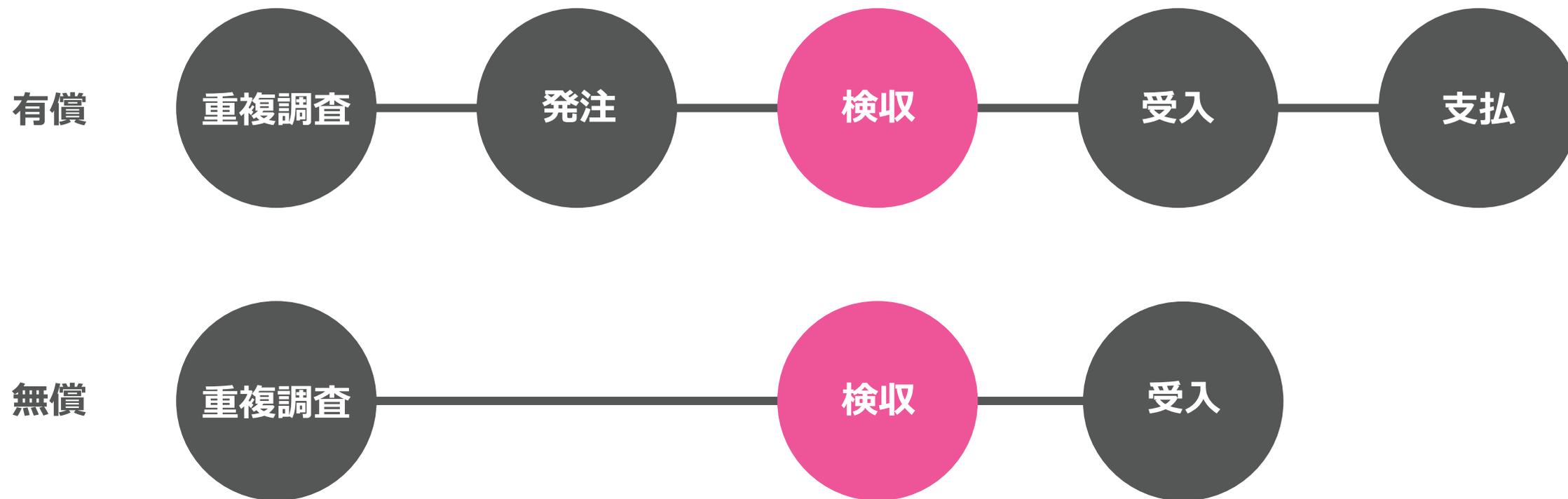
- 図書館システムの重複チェック機能を活用する
- 発注時に書店システム側で重複チェックを行う機能がある場合も
- ハードカバー/ペーパーバックでのISBN違いなど、いろいろなケースが...

一連の流れ — 発注 —



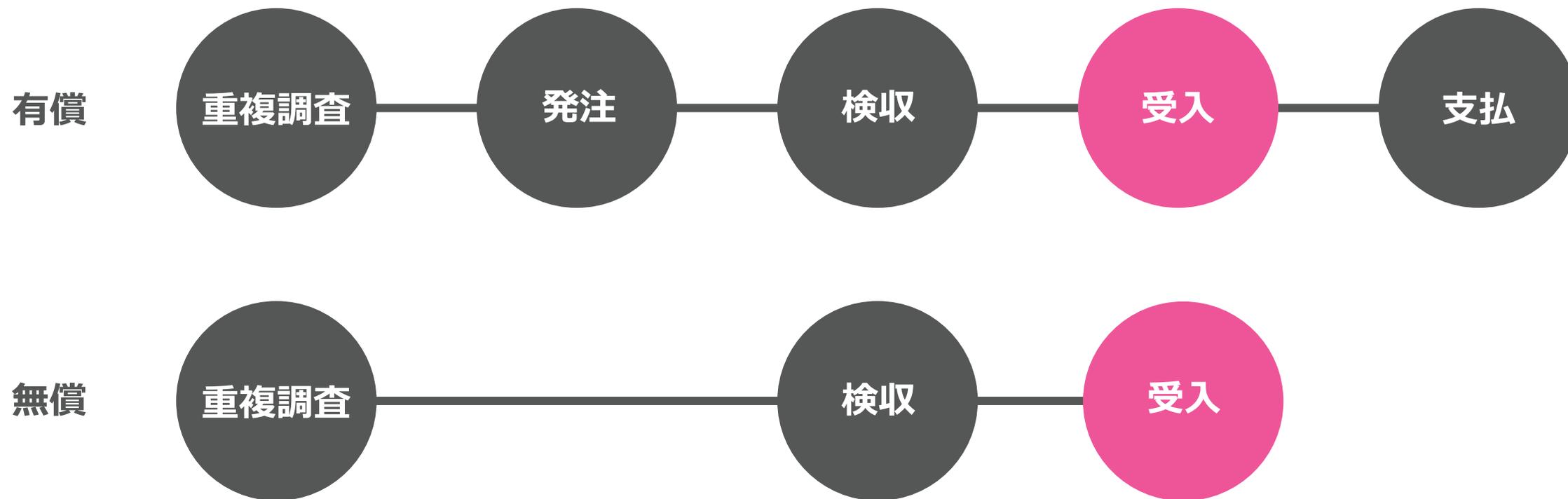
- 大手書店は発注用のシステムが用意されている（図書館システムと連携可能な場合も）
- 日本語、英語以外の書籍は納期遅延の可能性があるので年度末は注意する
- 電子コンテンツの場合は、リバースチャージ方式で支払う消費税を忘れないように

一連の流れ — 検収 —



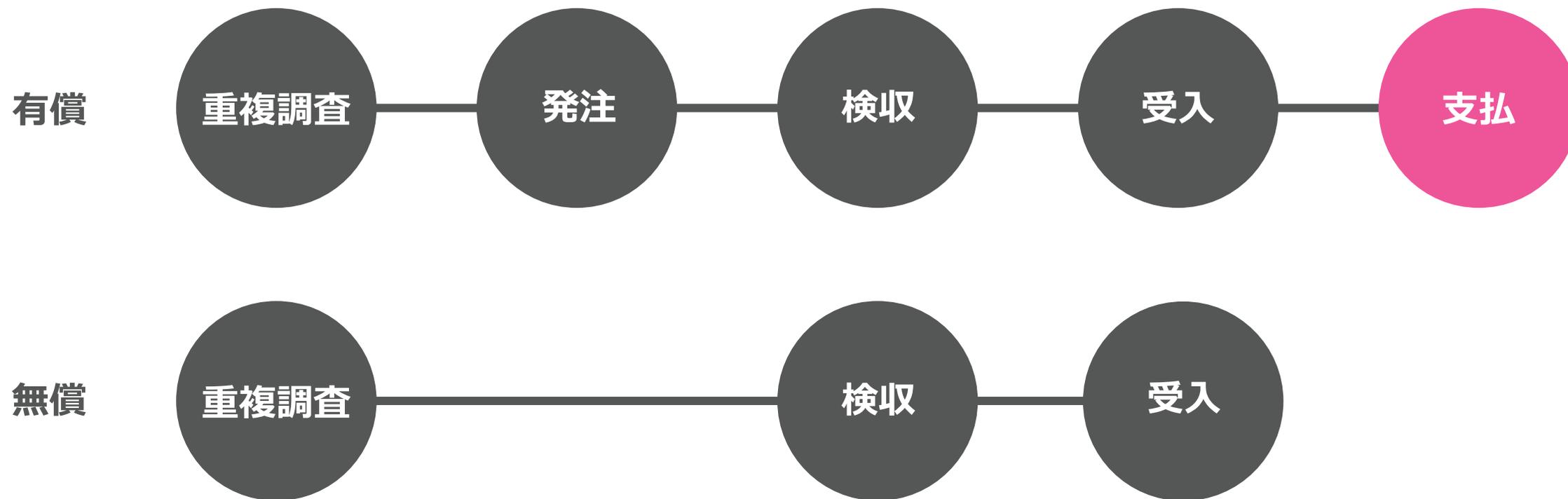
- 落丁、乱丁があればこのタイミングじゃないと交換が難しくなる
- 読めない言語でも、ISBNやGoogle翻訳を駆使して必ず発注データと同定を行う
- 不適切執行を防ぐために発注者とは別の人が検収を行うことが推奨されている

一連の流れ — 受入 —



- 図書館システムにデータを登録し、目録作業につなげる
- 製本雑誌は「購入価格+製本費用」または「製本費用」が評価額
- 寄贈の場合は、「定価」「同種図書による参考価格or備忘価額（非売品）」が評価額

一連の流れ — 支払 —



- 会計システムにデータを登録し、大学口座から書店等に支払いを行う
- 会計担当部署と仲良くなっておきましょう...
- 適格請求書対応（2023/10～）など、制度変更をキャッチアップする必要あり

受入とは？

図書館が資料を蔵書として受け入れる際の最初の作業で、重複調査、発注、支払、受入登録などに分かれる。有償(購入)、無償(寄贈、資料の購入受入など)、寄託などを通じて取得した資料を、購入金額、形態、利用頻度、更新期間などを基準に、**固定資産(備品)と非資産(消耗品)備品の2種に区分し**、備品扱いの資料は図書原簿に記載する。これは物品管理法や会計法規上必要となる。

—— "受入業務", 図書館情報学用語辞典 第5版, JapanKnowledge, <https://japanknowledge.com>, (参照 2024-10-18)

固定資産と非資産の区別

<注32> 図書の評価方法について

図書[...]は国立大学法人等にとって、教育研究の基礎となるものであることから、雑誌やパンフレット等教育研究上一時的な意義しか有さないものを除き、有形固定資産として取得原価をもって貸借対照表価額とする。 [...]

—— 「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」報告書（令和6年2月21日改訂）本文，
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/houjin/houjin.htm，（参照 2024-10-16）

Q36-7 図書について、「教育研究上一時的な意義しか有さない」とは具体的にはどういった意味か。

1 「教育研究上一時的な意義しか有さない」とは、図書が教育・研究の用に供されるものであっても、当該図書の取得時における使用予定期間が1年未満であるか否かにより判断される。

2 使用予定期間が1年未満であるか否かの判断は、当該図書の装丁等で一律に行うのではなく、当該図書の内容について時の経過による陳腐化の程度、使用による物理的減耗等を勘案し、法人として1年以上にわたって利活用する予定であるか否かによりなされることとなる。例えば、堅牢な表紙を備えた冊子であっても、取得時において1年未満の使用しか予定しないものについては消耗品とし、月刊誌・季刊誌等の雑誌類であっても、取得した形態のままで特段の変更を加えることなく1年以上の利活用を予定するものは図書とすることとする。

—— 「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」に関する実務指針本文（令和6年6月13日最終改訂），
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/houjin/houjin.htm，（参照 2024-10-16）

目次

- 1 自己紹介
- 2 講義概要
- 3 選書
- 4 受入
- 5 目録

目録とは？

利用者が図書館で利用可能な資料を発見・識別・選択・入手できるよう、資料に対する書誌データ、所在データおよび各種の典拠データを作成し、適切な検索手段を備えて、データベース等として編成するもの

—— "目録" . 日本目録規則2018年版. 日本図書館協会目録委員会編. 東京, 日本図書館協会, 2018, p.737

大学図書館においては



目録所在情報サービス

NACISIS-CAT/ILL

NACISIS-CAT/ILLとは

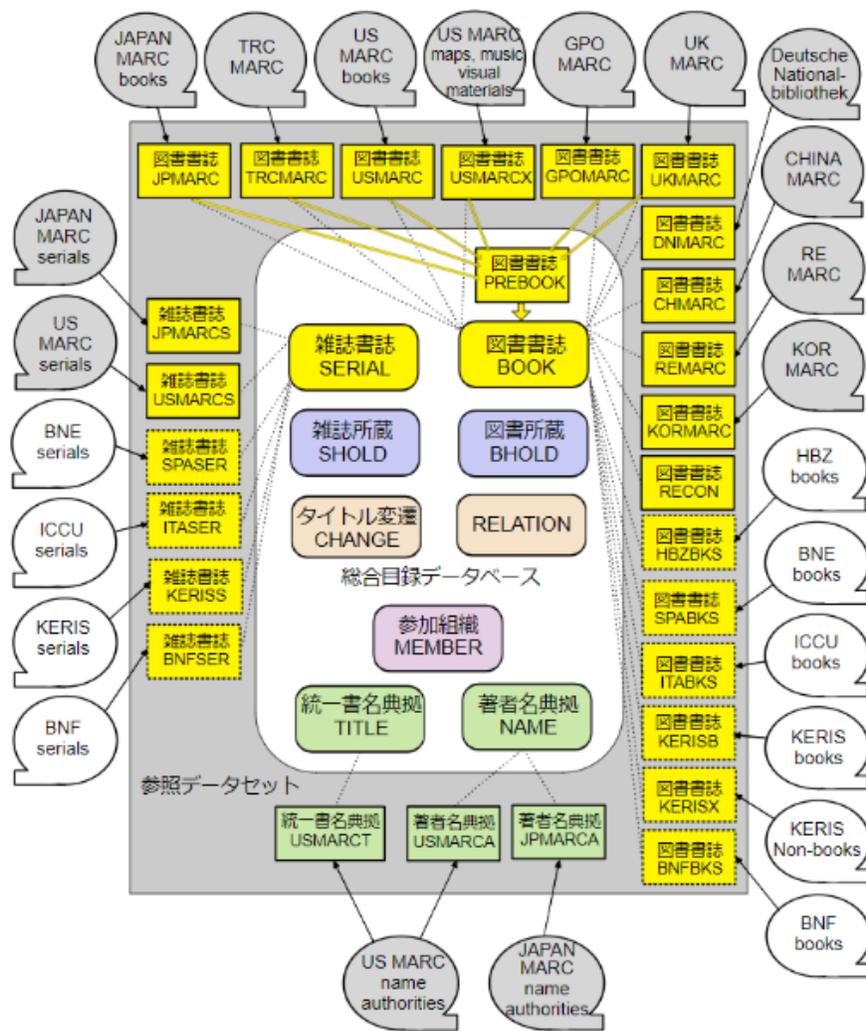
目録所在情報サービスは、参加する図書館が所蔵する資料の書誌情報と所在情報をオンラインでデータベース化し、所在情報データベースを利用して、それぞれの図書館が自館で所蔵していない資料を相互に提供する「図書館間相互協力」を迅速に実施しています。

NACISIS-CATとは、オンライン共同分担目録方式により全国規模の総合目録データベース(図書/雑誌)を形成するためのシステムです。

NACISIS-ILLとは、図書館間で行われている相互貸借サービス(文献複写や資料現物の貸借の依頼及び受付)のメッセージのやりとりを電子化したシステムです。

—— “目録所在情報サービス (NACISIS-CAT/ILL) について”, 国立情報学研究所目録所在情報サービス, <https://contents.nii.ac.jp/catill>, (参照 2024-10-18)

NACISIS-CATの構造



\\ ない書誌は積極的に作成しよう！ //

- NACISIS-CATにない書誌を各大学等がデータ入力
- 目録情報の基準 / コーディングマニュアル等で標準化
- 作成された書誌情報は各大学等で共有
- 各国のMARC等を導入しデータ入力に利用

省力化



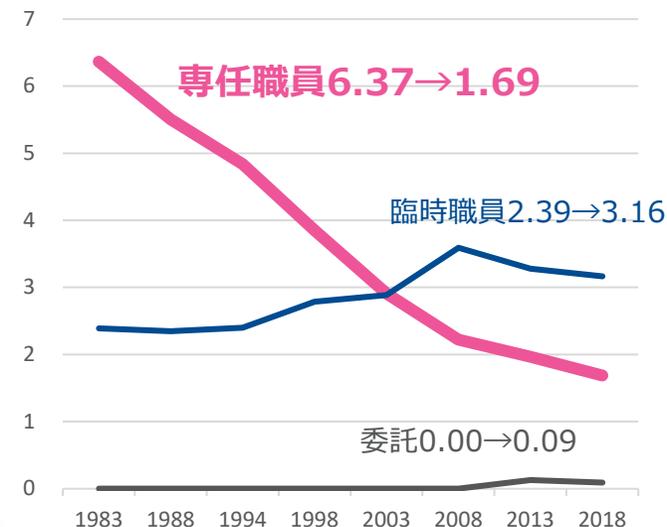
利用促進

— 図1-1“データベース構成図”, 目録情報基準 第5版 (2020.8), https://catill.bitbucket.io/KIJUN/m5_1_3.html, (参照 2024-10-18)

NACSIS-CAT/ILL関連年表

- 1985 NACSIS-CAT提供開始
- 1992 NACSIS-ILL提供開始
- 1998 NACSIS Webcatサービス開始
- 2005 Webcat Plus 正式サービス開始
- 2011 CiNii Books公開
- 2015 これからの学術情報システムの在り方について
- 2018 NACSIS-CAT/ILL の軽量化・合理化について（最終まとめ）
- 2019 これからの学術情報システムの在り方について（2019）
- 2020 CAT2020
- 2023 新NACSIS-CAT/ILL
- 2024 NCR2018適用

国立大学の目録専任職員数



文部科学省

大学実態調査, 学術情報資源実態調査より

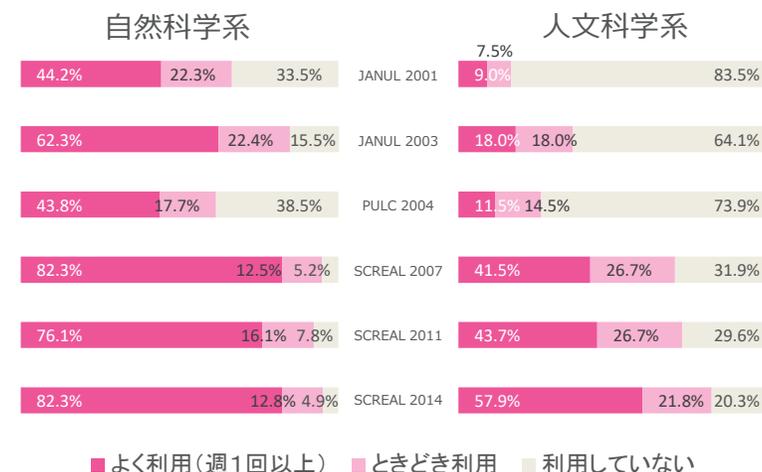
“電子情報資源への適切な対応のための資源(人的資源, システム資源, 経費を含む)の確保のために, 書誌作成と書誌管理作業の軽量化を図る。”

— “NACSIS-CAT/ILL の軽量化・合理化について（基本方針）”, これからの学術情報システム構築検討委員会, 2016-6-29
https://contents.nii.ac.jp/sites/default/files/korekara/2021-02/korekara_doc700.pdf, (参照 2024-10-18)

NACSIS-CAT/ILL関連年表

- 1985 NACSIS-CAT提供開始
- 1992 NACSIS-ILL提供開始
- 1998 NACSIS Webcatサービス開始
- 2005 Webcat Plus 正式サービス開始
- 2011 CiNii Books公開
- 2015 これからの学術情報システムの在り方について
- 2018 NACSIS-CAT/ILL の軽量化・合理化について（最終まとめ）
- 2019 これからの学術情報システムの在り方について（2019）
- 2020 CAT2020
- 2023 新NACSIS-CAT/ILL
- 2024 NCR2018適用

電子ジャーナル利用の変化



“学術情報の利用に関する調査（SCREAL調査）2014基本集計”，
SCREAL, <https://www.screal.jp/>, (参照 2024-10-18)
より作成

“ [...]電子情報資源・印刷体それぞれの管理・運用に必要なデータを統合的に
利用可能とするシステム環境[...]の構築が必要となることを確認した。 ”

— “これからの学術情報システムの在り方について（2019）”，これからの学術情報システム構築検討委員会, 2019-2-15
https://contents.nii.ac.jp/sites/default/files/korekara/2021-02/korekara_doc3.pdf, (参照 2024-10-18)

メタデータの高度化

(4) メタデータの高度化

他機関(NDL, 出版社等)と連携し, RDA(*Resource Description and Access*) 及び日本目録

規則 2018 年版への対応のほか, BIBFRAME 等の新たな国際標準への対応について検討を行う。

—— “これからの学術情報システムの在り方について (2019) ”, これからの学術情報システム構築検討委員会, 2019-2-15
https://contents.nii.ac.jp/sites/default/files/korekara/2021-02/korekara_doc3.pdf, (参照 2024-10-18)

Semantic Catalog

(機械判別可能な目録)

意味・語彙・スキーマ	Dublin Core, FOAF, etc.
記法・文法	RDF/XML, JSON-LD, etc.
概念モデル	FRBR
記述規則	RDA, NCR2018

Linked Catalog

(他のデータとリンクされた目録)

1. Use *URIs* as names for things
2. Use *HTTP URIs* so that people can look up those names.
3. When someone looks up a *URI*, provide useful information, using the standards (*RDF**, *SPARQL*)
4. Include links to other *URIs*. so that they can discover more things.

—— “Linked Data - Design Issues”, Berners-Lee, Tim, 2009/06/18,
<https://www.w3.org/DesignIssues/LinkedData.html>, (参照 2024-10-18)

再・目録とは？

利用者が図書館で利用可能な資料を発見・識別・選択・入手できるように、資料に対する書誌データ、所在データおよび各種の典拠データを作成し、適切な検索手段を備えて、データベース等として編成するもの

—— "目録". 日本目録規則2018年版. 日本図書館協会目録委員会編. 東京, 日本図書館協会, 2018, p.737



“利用者 = 人間 + 機械”
の時代



Cinii Books <https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB23813122> 🔍 ☰

「日本目録規則(NCR)2018年版」(仮称)全体条文案概要

著者

日本図書館協会目録委員会
ニホントシヨカンキョウカイモクロクインカイ

書誌事項

「日本目録規則(NCR)2018年版」(仮称)全体条文案概要
日本図書館協会目録委員会編集
日本図書館協会, 2017.2-
[付なし] 付.検討集会の記録

タイトル別名	日本目録規則NCR2018年版仮称: 全体条文案概要 日本目録規則NCR2018年版仮称全体条文案概要
タイトル読み	「ニホン モクロク キソク(NCR)2018ネンバン」(カシヨ

```
{
  "@context": "https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB23813122.json",
  "owl": "http://www.w3.org/2002/07/owl#",
  "bibo": "http://purl.org/ontology/bibo/",
  "foaf": "http://xmlns.com/foaf/0.1/",
  "rdfs": "http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#",
  "prism": "http://prismstandard.org/namespaces/basic/2.0/",
  "cinii": "http://ci.nii.ac.jp/ns/1.0/",
  "dc": "http://purl.org/dc/elements/1.1/",
  "dcterms": "http://purl.org/dc/terms/"
},
"@id": "https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB23813122.json",
"@graph": [
  {
    "@id": "https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB23813122#entity",
    "@type": "bibo:Book",
    "foaf:isPrimaryTopicOf": {
      "@id": "https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB23813122.json"
    },
    "dc:title": [
      {

```

これからの学術情報システムの在り方について（2024）

1. 在り方(2024)のビジョン

本委員会は以下の3点を推進するため、国内外の学術情報にかかるメタデータを活用できる仕組みや制度の整備、共同利用システムの構築、人的リソースの共有や交流を推進する共同・協働のネットワークを確立する。

(1) 研究者や学生等が研究、教育、学習に必要な学術情報をワンストップで、簡便に検索、入手できる。

(2) 図書館は、多様なメタデータの組み合わせや、共同利用システムの活用により、目録業務の効率化をはじめ、最適なサービスを実現できる。

(3) 図書館はまた、学内の関係部署と連携し、大学等の機関で生産される論文、図書、研究データ等の成果をデータとして把握でき、学内外のユーザーに提供できる。

振り返り

「大学図書館で本を買う」



- ☑ 図書が書架に並ぶまでにどんな業務が生じているか説明できる
- ☑ 何のための業務なのかを理解する

関連イベント

2023

Apr
1



ユーザーグループ本番運用開始

NCR2018適用について / DX化時代の図書館システムガイドライン / 国内電子ブック&DAのメタデータ流通促進 など
Discordの登録と招待リンクへのアクセスが必要

2024

Sep
9



NCR2018対応マニュアル類公開

目録情報の基準 第6版 / コーディングマニュアル
セルフラーニング教材

Sep
13



NACSIS-CAT・NCR2018適用はじまる：コーディングマニュアル・目録情報の基準改訂説明会

※資料・アーカイブ視聴可能

Oct
31

NCR2018対応マニュアルのNACSIS-CAT/ILL適用開始

Nov
19



図書館総合展

14:00-16:15 ポイント解説！：NCR2018対応 セルフラーニング教材
15:15-16:15 みんなで目録の夢を見る

参考サイト

- 国立情報学研究所目録所在情報サービス. “目録所在情報サービスの沿革”
https://contents.nii.ac.jp/catill/about/cat_ill/history (参照 2024/10/23)
- これからの学術情報システム構築検討委員会. “ドキュメント”
<https://contents.nii.ac.jp/korekara> (参照 2024/10/23)
- 日本図書館協会. “日本目録規則2018年版”
<https://www.jla.or.jp/committees/mokuroku/ncr2018/tabid/787/Default.aspx> (参照 2024/10/23)
- 日本図書館協会. “日本目録規則（NCR）2018年版関連情報”
<https://www.jla.or.jp/committees/mokuroku/tabid/643/Default.aspx> (参照 2024/10/23)
- 国立情報学研究所教育研修事業. “NACSIS-CAT/ILL セルフラーニング教材”
<https://contents.nii.ac.jp/hrd/product/cat/slcat> (参照 2024/10/23)

Thank you for listening

Contact

Mail

nuno_masahide@tufs.ac.jp